

年 組 名前

2021年4月10日付 国語科 / 小学校5年

1 日本人は農作物や木材の消費を通じて、東南アジアやアフリカの森の木を一人が年に二本ずつ切り倒している。総合地球環境学研究所の金本圭一朗准教授らが、世界各国の消費行動がどの地域でどれほどの森林伐採を引き起こしているかを調べ、英科学誌に発表した。

2 チームは二〇〇一〜一五年の衛星画像などから、森林の失われた地域や面積、伐採後にできた農地で栽培されている作物を割り出し、製品が最終的にどの国の消費者に届いているかを貿易統計などから明らかにした。

3 日本を含む先進七カ国（G7）や中国は木材や大豆、牛肉などの輸入を通じて世界中で森林を減少させていた。日本は特

日本人1人の行動は年本の森林伐採となる



農作物の輸入 熱帯林への影響調査

1 豆や綿を消費することで、熱帯を中心とした森林に大きな影響を与えていた。日本人一人が暮らすのために伐採させている木は年に二・二二本、そのうち二・〇七本が国外だった。

4 G7の平均は一人当たり年四本で、大半の国が森林伐採の九割を国外で引き起こしていた。

5 大豆やパーム油の生産は、生物多様性を支え、二酸化炭素(CO₂)吸収の役割が大きい熱帯林を大きく減少させるとされる。金本さんは「サプライチェーン(調達・供給網)に注目し、森林伐採を伴わない商品の輸入や消費を意識するべきだ」と話した。

問1 見出しの **ア**・**イ** にあてはまる最も適当な言葉を、アは

漢字二字、イは数字一字で、それぞれ書きましよう。

ア () イ ()

問2 金本さんの調査について、調査の方法は第何段落に書かれているでしょうか。 第 () 段落

問3 調査の結果をふまえて、金本さんはどうすべきだと言っていますか。二十二字で抜き出しましょう。

()

【活用にあたって】

段落相互の関係について考えるのに適した記事です。それぞれの段落が何について書かれているのかを丁寧に読み取った上で、互いの関係を捉えていきます。この記事は、次のような構成になっています。

第1段落：調査の概要

第2段落：調査の方法

第3段落：調査の結果①

第4段落：調査の結果②

第5段落：調査の考察

第1段落は、「リード文」にあたります。記事の内容を短くまとめたものです。ここを読めば、何について書かれているかがつかめます。また、問1は「見出し」に関するものです。「究極の要約」と言われるように、記事の内容が一目で分かります。こういった知識があると、新聞から情報を引き出しやすくなります。

解答例

問1：ア 消費 イ 2

問2：2

問3：森林伐採を伴わない商品の輸入や消費を意識する